

軸付フラップホイール・ジルコニア・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社

兵庫県丹波市山南町谷川1385

TEL: 0795-77-2151

作成日: 2006年3月6日

変更日: 2018年2月9日

整理番号: MSDS-F020



危険有害性の要約

危険性: 危険性は極めて低い。

有害性: 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。

研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。

環境影響: 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS 分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHS ラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

1. 研磨布成分 (構成1) 理研コランダム製 Z64

物質の特定	成 分		含有量 (%)
		アルミナジルコニア砥粒	
	Al ₂ O ₃		60% 以上
	ZrO ₂		30% 以上
	その他 (TiO ₂ , Fe ₂ O ₃ , SiO ₂ 等)		
	※Fe ₂ O ₃ は砥粒に初めから含まれるものであり、製造過程において鉄分の添加は行っておりません		
基 材	太綾織布 (綿+ポリエステル) を合成樹脂加工したもの。		
接着剤	一次塗装	フェノール樹脂+無機質充填剤	
	二次塗装	フェノール樹脂+無機質充填剤	
	オーバーサイズ	熱硬化性合成樹脂+弗素系無機質充填剤	

2. 軸 (構成2)

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 単一製品 (炭素鋼)	
	成 分	含有量 (%)

	C (炭素)	0.13~0.18%
危険性情報	発火点	なし。
	加熱性	なし。
	発火性	なし。
	酸化性	なし。
	自己反応性・爆発性	なし。
	粉塵爆発性	なし。
	安定性・反応性	なし。

3. 接 着 剤 (構成3)

物質の特定	単一製品・混合物の区分	混合物
	化 学 名	エポキシ樹脂系二液型接着剤
	成 分	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
	化審法番号	7-1283他
	C A S 番号	25068-38-6他
危険有害性の分類	分類の名称	その他の有害物質
	危険性	可燃性液体 (危険物第四類第四石油類)
	有害性	吸入したり皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがある。
危険性情報	引火点	206℃
	安定性	通常の場合では、安定
	反応性	硬化剤とはかなりの発熱を伴って反応する。急激な硬化、一度に多量の硬化は、時には有害な煙、蒸発物を伴い反応物の炭化・分解を生ずることがある。
主な適用法規	消防法	危険物第四類第四石油類
	海洋汚染防止法	B類物質
	労働安全衛生法	変異原性物質
	P R T R 法	第1種指定化学物質 (No.30 ビスフェノールA型エポキシ樹脂：97%)

4. 軸付フラップ・ジルコニア (完成品)

危険・有害性の分類	分類の名称	： 分類基準に該当しない。
	危険性	： なし
	有害性	： 研磨作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。 皮膚を刺激することがある。

<p>応急処置</p>	<p>眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。</p> <p>皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹸と水で洗う。</p> <p>吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合 適用しない。</p> <p>応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。</p>
<p>火災時の処置</p>	<p>消火方法 ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。</p> <p>消火剤 水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤</p> <p>火災時の処置に関する特記事項 適用しない。</p>
<p>暴露防止措置</p>	<p>許容濃度</p> <p>酸化アルミニウム (1344-28-1) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 0.5mg/m³ 総粉塵 2mg/m³ ACGIH TLV : 10mg/m³ TWA AIとして 1986</p> <p>二酸化ジルコニウム (1314-23-4) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 2mg/m³ 総粉塵 8mg/m³ ACGIH TWA : 5mg/m³ (Zrとして) STEAL : 10mg/m³ (Zrとして)</p> <p>硬化済み接着剤 (CURED AD1) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない</p> <p>ナイロン繊維又は織物 (NYLON F02) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない</p> <p>炭酸カルシウム (1317-65-3) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 2 mg/m³ 総粉塵 8 mg/m³ ACGIH TLV : 10mg/m³ TWA 1986</p> <p>設備対策 硬化物の研磨、切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。 換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。集塵装置を使用する。</p> <p>保護具</p> <p>呼吸保護具 切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。 汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。半面防塵マスク、全面防塵マスク</p> <p>保護眼鏡 サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。</p>

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○	○
	酸化アルミニウム	酸化ジルコニウム

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高压ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類対象外
可燃性固体	区分外	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外	分類対象外
自然発熱性固体	区分外	分類できない
自己発熱性化学品	区分外	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外	区分外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	区分外	分類できない
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない



健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	分類できない
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	区分外	分類できない
生殖毒性	区分できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(吸入:肺)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない	

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	警告
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○
	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激 眼刺激 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性